jyukyo dayori
住居だより
ひと と 空間 を科学する

日本女子大学 住居学科のニュースを
ご紹介します。

No.047
Jun.2023

topic 1

2022年度 ヨーロッパ住宅・建築・都市デザイン研修旅行

2022年度のヨーロッパ研修は、12/15のキックオフに始まり、3度の講義やグループワークを経て、イギリスのロンドン・オックスフォードとフランスのパリにて実施されました。現地大学では、再開発マスタープランを提案する発表も行いました。

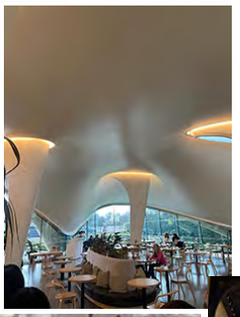
◀英語でのプレゼン方法のレクチャー（右）
ラーニングコモンズでの事前研修（左）

事前学習

- 12/15 **81 days before** キックオフ・事前研修
- 1/27 **38 days before** オンライン講義①
- 2/10 **24 days before** オンライン講義②
- 2/16 **18 days before** グループワーク開始
- 2/24 **10 days before** オンライン講義③
- 3/3 **3 days before** グループワーク終了

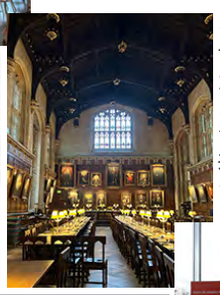
3/6 **day 1**
出発

3/7 **day 2**
イギリス着
●ザハ建築見学（サーペンタイン・サックラーギャラリー／ロカ　ロンドンギャラリー）



3/8 **day 3**
●ロンドン建築見学（キングスクロス再開発地区／テートモダン／コインストリート　ネイバーフッドセンター）

3/9 **day 4**
●コッツウォルズ
●バートン・オン・ザ・ウィーター周辺散策
●マナーハウスで昼食
●オックスフォード大学クライストチャーチ
●現地学生とオックスフォード駅周辺散策



◀サーペンタイン・サックラー・ギャラリーのカフェ（左上）
コインストリート・コミュニティ・ビルダーズが運営する共同住宅（左中）
クライスト・チャーチ（右中）

アンミン大聖堂▼

3/10 **day 5**
●オックスフォードブルックス大学で交流・発表
●ウィンザー城

ルーヴル美術館（左）
ルーヴル美術館分館（右）▶

3/11 **day 6**
イギリスからフランスへ
●ルーブル美術館分館
●アミアン大聖堂

3/12 **day 7**
●サヴォア邸
●パリ市内見学（フォンダシオン・ルイ・ヴィトン／アラブ世界研究所）

サヴォア邸▼

3/13 **day 8**
パリ市内班別自由研修

3/14 **day 9**
イギリス発

3/15 **day 10**
帰国

▲街区の再開発マスタープランを考える課題にて各グループが作成した発表スライド

※現地建物の写真は参加学生に提供してもらいました

引率教員のコメント

政情不安や Covid-19 の影響等で、中止の続いていたヨーロッパへの海外研修を、内容を一新して実施することができました。12 月から事前準備を始め、オンラインでイギリスにいる先生方に建築、都市計画等のレクチャーを受け、そのうえでオックスフォードの町の一角の再開発計画を提案する課題でした。提案を考えた後は日本で英語の特訓も受け、堂々とした発表をして、現地の先生方にも高く評価していただきました。

現地では、発表だけでなく、多くの住居・建築や都市の様子を見学することができました。日本から長旅直後に、空港からザハ・ハディド氏の建築の見学でしたが、疲れを見せずに写真を撮影し、英語で質問する学生の姿に、学びの熱意を感じました。また現地で建築・都市を学ぶ学生との町歩きの時間もあり、バスの出発時間ギリギリまで一緒にパブで食事をする等、共通の関心の話題で楽しい時間を過ごしたようでした。

多くの方の協力とご理解のもとで実現したツアー。感謝するとともに、この経験をいかして世界に羽ばたく卒業生が増えることを期待します。

（薬袋 奈美子 教授）

マスタープランに関する発表の様子（上）▲
現地大学の 3 名の先生による講評の様子（下）

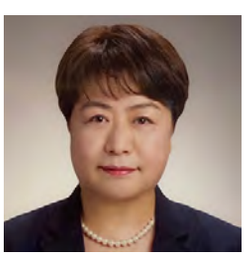
topic 2

4 月から新しいスタッフが加わりました

古賀 繭子 助教

本学大学院住居学専攻を修了後、住居学科で助手として 5 年間勤務の後、民間コンサルタント会社にて、商業施設の売場環境調査等に携わっておりました。商業施設空間と人とのかかわりについて考える中、修士・助手時代に研究していた高齢者の住環境に関する研究再開への想いが高まり、人間生活学研究科生活環境学専攻（大学院博士課程）に進学し、研究を深め、博士論文提出後は、出産・子育てと並行して、研究を継続してまいりました。2020 年からは非常勤講師として学生指導も担当させていただくようになり、このたびご縁があり、2023 年 4 月に助教に着任いたしました。

住居学科では、住まい手の視点で住居・建築を学び、表現して伝える力を身につけることができ、社会で大いに役立ちました。みなさんが学生生活で様々な学びを得られるよう、お手伝いができればと思っています。どうぞ、よろしくお願いします。



泉名 ゆかり 助手

大学卒業後、民間企業の技術営業部門に長らく勤めていましたが、東北大震災を機に一念発起して、某大学の大学院に社会人入学し、ユニバーサルデザイン（UD）に関する研究に取り組みました。大学院修了と同時に住居学科中央研究室に着任しました。実は、私も住居学科の卒業生ですが、まったく勉強熱心な学生ではありませんでした。今、こうして住研にいることに自分でも驚いています（笑）

昔も今も、1 限から授業に出たり、レポートや課題に取り組んで期日通り提出したりするのは大変なことですが、その大変さを乗り越えて「やり遂げる」経験は、社会に出てから自分を支えてくれる大切な財産になると思います。学生のみなさんが住居学科に入学して卒業するまでの間に「私の財産」を持てるようサポートしていきたいと思います。

これからどうぞよろしくお願いします。

日本女子大学 JAPAN WOMEN'S UNIVERSITY 住居学科 居住環境デザイン専攻 建築デザイン専攻
〒112-8681　東京都文京区目白台 2-8-1
URL：http://mcm-www.jwu.ac.jp/~jyu-ishi/jyu/ui/course0104a.htm